

# スマホで訪問記録

## 三重・伊勢・情報共有し指導強化

【三重・伊勢】JA伊勢は、営農指導員らの組合員訪問の記録を業務用スマートフォンで記入できるようにした。訪問先で得た情報を職員間で共有することで、組合員サービスを向上するのが目的だ。入力作業の簡素化や業務の効率化にもつなげていく。

同JAは、持続可能「中で、「農家の売り上点項目に掲げ、営農指導体制の強化を進めている。この一環として9月、営農指導員らに業務用スマホを導入した。スマホはチャットアプリ「LINE WORKS（ライン・ワークス）」をインストールした。営農部指導販売課の職員を中心に情報を共有する。また、生産部会員らに市況情報などを適時送信するツールとして活用している。



農家訪問記録簿を登録する同JAの営農指導員

11月には、デジタル化した農家訪問記録簿

に訪問先や日時、目的、訪問結果などを業務用スマホで登録できるようにした。職員が登録した情報は、IT・DX対策課が構築したクラウドに保存し、管理者が閲覧できるようにした。生産者や生産部会別にデータを表示できるため、課題や生育状況などの分析にも活用できる。

営農指導員の一人は「外出先でもデータを登録できるので効率的に業務を進められる。生産者ごとに過去のデータが一目で分かるので、次の訪問のときに適切なアプローチにつなげることができる」と効果を話す。